



## 花の都、京都

今年も綺麗に咲きました。鴨川縁の散策、京都での若き日を思い出すため、是非とも京都へお越し下さい。

休日を楽しめる平和な日本。

このような日が、ずっと長く続きますように。



### 川端の桜、靖国神社の桜、大和男子

昭和41年卒 久保 愛三

最高の花見の日に楽しく酒を飲んで、自宅に帰るタクシー、川端通りを通過して修学院離宮の方へと進みます。川端通りは桜のトンネルで、ああ、京都の桜は本当に綺麗だなあと幸福感に満ちながら、車に揺られていました。このタクシーの運転ちゃん、喋り好きで、こっちも酒の勢いもあって、話が弾みました。

「この川端の桜、昔はありまへんでしたやろ。どうして出来たのか知ってはりまっかー」

「いいや」

「戦後、しばらくして世の中も落ち着いてきて泰平になり、警察も少し暇になり出したころ、川端署の人が警察署の前に桜の苗を植え、暇な時にそれをどんどん植え広げていったんですよ」

「へー、警察も時には良いことするんでんなー」

「そうでんなー。ところで、日本全国、なんでこんなに桜が多いのか、知ってはりまっかー」



「いいや、知らんなー」

「桜の花は、パッと咲いてパッと散るでっしゃろ。大和男子はパッと咲いてパッと散るといふこの美意識を国民に植え付けようという思いで、昔の軍部が主導的に全国に桜を植えさせたんですよ。予科練のイメージも桜でっしゃろ。靖国神社のイメージも桜でっしゃろ。」

「そーか。そやけど、今の日本は老人だらけやで。大和男子はみんなパッと咲いてパッと散るやったら、日本には老人はおらんようになっとるはずなんやけどなー。」

すると運ちゃん、少し考え込んで、

「うーん。そやなー。いまの日本には大和男子がおらんようになったから、年寄りばかりが増えたんでっしゃろ。」



あー、参ったなー。

マスメディアや政治家は口が裂けても言わないこと、だけど、生産現場の人間が日々感じている、今、日本の技術が空洞化し、深刻な状況になっていることが、厳しく指摘された気もしました。

「スウェーデンの社会学者なんかは、日本は老人問題と社会福祉で国が亡びるなんて言うてるんやでー。老人が増えすぎると国の経済的なインプットとアウトプットとのバランスを取ることが難しくなるんや。もし、日本人の平均寿命が70歳以下ぐらいなら、今、日本が抱えている経済問題も全て簡単に片付くんや。世界一豊かな国ですよ。しょやけど、この考えを進めて行くと、人間の倫理観とは相容れないところが山ほど出てきますなー。生物的な人類種の保存のための原則と、人間を人間たらしめている観念とはトレードオフの関係にあるんでなー」

「そーでんなー」

京都のタクシーの運ちゃん、インテリですね。

(おわり)

広大な宇宙には、人間と同じような動物がいるであろう。彼らと友達になりたいと電波信号を発信している人がおり、それが微笑ましい夢であるかのように報道されている。無限の宇宙には多くの生物はいるであろう。人類より劣った生物なら受信はできない。人類程度の科学技術レベルなら、受信しても地球までは来ることはできない。人類よりも格段に進んだ宇宙人がいたら、その電波を受信し、地球にやってくるかもしれない。

人類が他の動物をどう処してきたかを振り返る。マンモスは食いつくされ、日本オオカミは狩られて滅亡した。ライオンやトラは辺境に追いやられた。クマは町に出てきたら殺される。ニワトリ、ブタは飼育され食糧となっている。ウマは働かされる。牛は働くのと、食べられるのと、ミルクを提供するという三役をさせられている。イヌは番犬、ペット、食糧と時代や地域によって異なるが、いろんな役割をしている。ネコはかつてはネズミをとる役割があったが、今はペットとである。すなわち、基本的には、ペット、食料、労働力が、殺されるかである。

対等なお友達というのはいり得ない。人類より進んだ宇宙人が地球にやってきましたら、人類はどう処せられるか、旨ければ食料、従順なら奴隷、刃向かえば絶滅、絶滅寸前になれば動物園で保護される。宇宙人が地球にやってくるのは、夢のまた夢であり、あり得ないことだということで、宇宙への電波送信は大目に見よう。

## —— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

### 【要領】

宛先は京機会の e-mail : [jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp) です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですが、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂く方が有り難いです。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願い致します。

済南の街中をバスで移動していると、「齊」と「魯」の文字がやたらと目につく。「齊魯銀行」というのもある。「齊国」も「魯国」も現在の山東省に紀元前にあった国で、特に「魯」は今でも山東省の代名詞になっている。両国とも商（殷）を滅ぼした（紀元前1046年頃）（西）周の姫氏（きし）と関係がある。（西）周建国に大功績のあった軍師姜子牙（きょうしが）が封ぜられたのが「齊」。建国の王・武王の甥にあたる伯禽が封じられた国が「魯」である。見知らぬ街にやってくると、行くところは博物館である。省山東博物館は外見も壮大だが、内部も豪華である。

「齊国」の展覧室に来ると、姜子牙（太公望のこと。明代に成立した「封神演義」では、妖術使いとして描かれている）が迎えてくれる。「姜齊」は、紀元前386年には家来の田氏に滅ぼされ、「田齊」となる。函谷関での「鶏鳴（狗盗）」で有名な孟嘗君も田氏である。「魯国」はもちろんのこと、「秦国」関連も展示してあって、最初に「徐福」が出てくる。山東省



（写真三）山東博物館内部

と姉妹関係にある県の職員の方から聞いた話ですが、徐福を中心にした催し物を企画しようとしたのだが、徐福が日本の天皇家と関わりがあることをにおわせる記述が、多くの学生の読む副読本にあるということで、催し物を中止せざるを得なかったということです。博物館の記述には、多くの童と共に日本に行ったことと上陸したとされる場所が日本に多く存在する、という記述で止めてある。

開校までまだ日数があるので、早速、済南から南へ150km程の曲阜へ足を伸ばすことにした。一人で旅行する時の最大の難関は言葉が通じないことなのだが、「どうにかなる」と簡単に考えられるようになったのが、昆明滞在時から長足の進歩である。曲阜まで、中国版新幹線の高鉄で結ばれているので日帰りができる。



（写真四）高鉄

高鉄は、外見も内部も新幹線そっくりである。「なぜだろう」と当然の疑問がわくが、深く考えても仕方がないので、それ以上詮索しないことにする。昔の新幹線を記憶しておられる方には懐かしい、食堂車が連結されていた。最高速度は時速304kmを掲示し、35分ほどで曲阜に着いた。ちなみに、運賃は二等車（普通車）で1000円ほど、一等車（グリーン車）で1800円ほど、日本と比較して極めて安い。



(写真五) 曲阜駅の孔子像

曲阜は孔子の出身地であるとともに、魯国の都でもある。周の礼の伝統をまとめ上げたのが孔子とも考えられる。

孔廟、孔府（子孫の邸宅）の北1.5km程の所に、広大な敷地をもつ孔林（孔家子孫代々の墓所）が



(写真六) 孔廟

ある。これらを合わせて三孔という。

済南の街中の至る所に、また、バスの中にも、孔子の言葉を見つけることができる。お気づきの方もおられかと思いますが、私の姓名の中二文字で「中庸」になる。名前に逆らって生きてきたように思う。罪滅ぼしに、孔廟内で「大学・中庸」の本を購入した。

(つづく)



(写真七) 孔子の墓

# 蒸気タービンの歴史 (その27)

## The History of Steam Turbine

藤川 卓爾 (昭和42年卒)

転載元：火力原子力発電技術協会，  
「火力原子力発電」，Vol.61，No.9，pp.36-61，(2010-9)

### 13. 社会のニーズに応じて

#### 13.4 排熱回収タービン

##### 13.4.2 特殊流体タービン

図59に示すように，水に比べて蒸発潜熱が小さい特殊流体を使用すると水蒸気で回収するより排熱のエネルギー回収効率が上がるので，フロンやアンモニアなどの特殊流体が使用されることがある。

##### (1) フロンタービン

写真42に三菱化成(株)黒崎工場向け排熱回収用3,280kWフロンタービン(1984年(昭和59年)完成)を示す。R-11が作動流体として使用された。また，13.3.2項に述べたように，代替フロンHCFC123を用いて地熱発電所の排熱水からエネルギーを回収するプラントも開発された。

##### (2) アンモニアタービン

海洋温度差発電用にアンモニアを 작동媒体として用いるアンモニアタービンが開発された。写真43に1982～1983年(昭和57～58年)に試験された九州電力(株)徳之島発電所向け50kWアンモニアタービンを示す。赤道直下の地域では表面の海水と深層海水の温度差が40℃近くになるのでこの温度差を利用してアンモニアを蒸発，凝縮させてランキンサイクルを構成することができる。日本近海では海水の温度差だけでは十分でないので高温側に既設のディーゼル発電所の排熱を利用してアンモニアを加熱した。

##### (3) アンモニア・水混合流体タービン

アンモニアと水の混合流体を使用すると，非等温蒸発特性を示すため排熱回収特

特殊媒体サイクルの温度関係

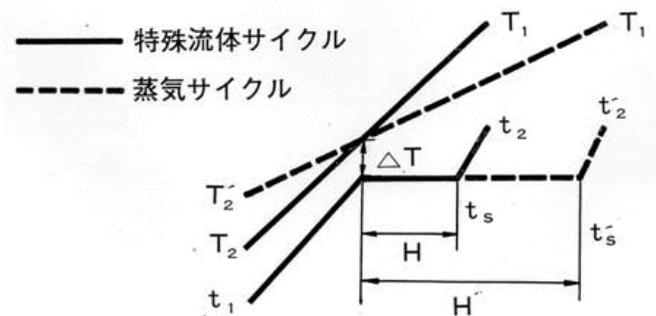


図59 特殊流体サイクル



写真42 三菱化成黒崎向け3,280kWフロンタービン  
[提供] 三菱重工業(株)

性が向上する。また、アンモニア水は沸点が低く、凝縮時の圧力が高いため、そのまま凝縮させるとタービンの背圧が高くなりタービン出力が低下する。タービンの排気によってアンモニア水を部分的に蒸発させ、セパレータで高濃度アンモニア水蒸気と希釈水液に分離し、希釈水液をタービン排気と混合してアンモニア水蒸気を希釈しアンモニア濃度を下げることにより、凝縮圧力すなわちタービンの背圧が下がるのでタービン出力の低下が防止できる。このシステムはカーリーナサイクルと呼ばれる。これを複合発電プラントに適用するための試験プラントも製作された<sup>(63)</sup>。

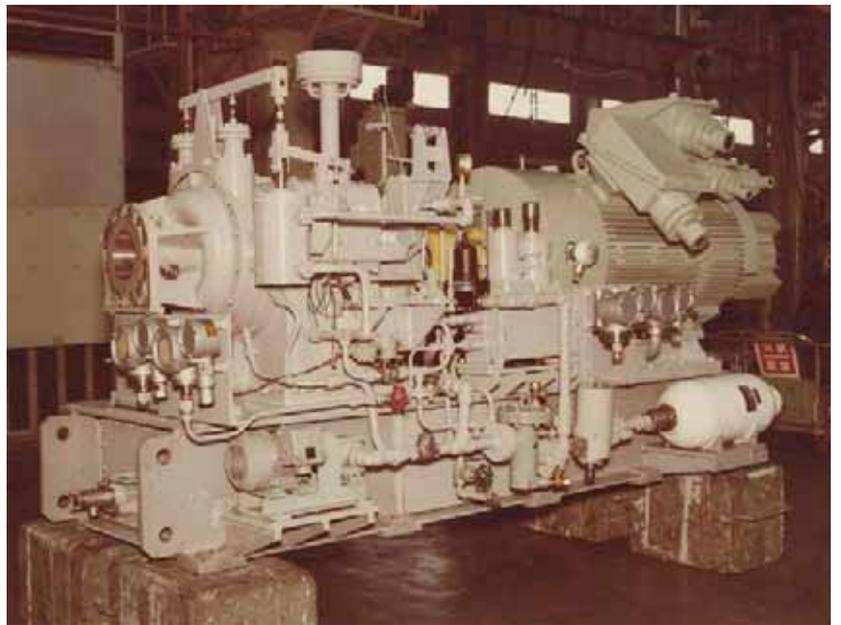


写真 43 九州電力徳之島発電所向け 50kW  
アンモニアタービン [提供]三菱重工業(株)

## 参考文献

- (58) THE SUNSHINE PROJECT BINARY CYCLE, TOSHIBA CORPORATION, (1984-8)
- (59) 浦 啓夫, 齊藤 象二郎: Geothermal Binary Power Generating System, World Geothermal Congress 2000, F8-3. (2000)
- (60) 小山 宏: 中低温度の地熱エネルギーを利用した地熱バイナリー発電システム, 平成 18 年度火力原子力発電大会論文集, 4-1. (2006-10),
- (61) 近藤 武志: 超小型ポータブル発電設備(ジオパック), 地熱技術, Vol.17, Nos.1&2 ,(Ser.No.40) ,(1992-3)
- (62) 榎林 利之, 浦 啓夫, 鈴木 哲也: 水バイナリー地熱発電システム, 地熱技術, Vol.28, Nos.3&4 ,(Ser.No.63), pp.35-46. (2003-11)
- (63) 杉浦 恒彦, 田中 雅, 滝 真人, 松尾 篤二, 近藤 武志, 鎌田 敏弘: アンモニア・水混合流体サイクル発電試験結果, 火力原子力発電, Vol.45, No.2, pp.64-71.(1994-2)

(つづく)

## 1. 景気は低調なのに雇用改善する背景に何があるのか

少子高齢化が経済成長を下押しする時代へ 急がれる企業の対応

2015.03.5 WEDGE Infinity 中島厚志

<http://wedge.ismedia.jp/articles/-/4832>

現在、労働需給はひっ迫しつつあり、失業率は人手不足で賃金が上がる水準にまで達したとも計算される。しかし、1%前後の成長率と景気は大して強くないのに、雇用が改善しつつづけている現状は違和感があるようにも見える。

## 2. 2015年度の雇用動向に関する企業の意識調査

2015.3.12

正社員採用、7年ぶりの高水準

帝国データバンク

～「女性」の活躍推進、従業員1,000人超の企業が突出～

<http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p150307.html>

人手不足が深刻化するなか、2014年12月の有効求人倍率は1.15倍と、1992年3月以来22年9カ月ぶりの高水準となった。また、新規学卒者の就職内定率は2014年12月時点で80.3%（大卒）と4年連続で上昇し、リーマン・ショック前の2008年の水準に迫っている。しかし一方で、地域間や業界間、社員・非正社員間などの雇用動向には依然として格差がみられる。このようななか、帝国データバンクは、2015年度の雇用動向に関する企業の意識について調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2015年2月調査とともにを行った。

調査期間は2015年2月16日～28日、

調査対象は全国2万3,365社で、有効回答企業数は1万593社（回答率45.3%）

なお、雇用に関する調査は2005年2月以降、毎年実施し、今回で11回目

本調査における詳細データは景気動向調査専用HP（<http://www.tdb-di.com/>）に掲載している

調査結果

1. 正社員の採用予定があると回答した企業は63.6%にのぼり、リーマン・ショック前の2008年度以来7年ぶりに6割を超えた。全国10地域すべてで採用予定が6割を超えるなど正社員の採用意欲は広がりをみせており、改善傾向が続いている
2. 非正社員の採用予定があると回答した企業の割合は5年連続で改善し、2007年度以来8年ぶりに5割を上回った。また、「採用予定はない」と回答した企業の割合は6年連続で減少し、リーマン・ショック後に急激な人員整理に直面した非正社員の雇用状況は大企業を中心に大幅に改善している
3. 雇用環境の改善時期は、すでに回復していると考える企業が1割を超えた。

ただし、小規模企業ほど長期的に雇用の改善を見込めていない

4. 2016年春卒業予定者の採用時期が後ろ倒しとなったが、自社の採用活動に「不利になる」と考える企業は約1割。その傾向は大企業でより高くなっているほか、中小企業においては内定辞退に対する懸念が強い
5. 企業が注力している人材では「若者」が最多。従業員1,000人超の企業では3社に1社が女性の活躍推進に注力しており、突出して高い

詳細は <http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p150307.pdf>

### 3. 安倍政権下で景気回復を実感できない理由

2015.03.26

「過去最高水準の賃上げ」に隠れた真実

東洋経済Online 中原圭介

<http://toyokeizai.net/articles/-/64328>

読者の皆さんは景気回復を実感しているでしょうか。先日の日本経済新聞では、日経とテレビ東京が実施した世論調査において、景気回復の実感を聞くと、「実感していない」が81%にもものぼったとの報道がありました。一方、「実感している」は13%にとどまったこと、アベノミクスを「評価する」は39%で、「評価しない」の41%と拮抗したことなどを同時に報じています。私もいろいろな場で「アベノミクスの恩恵を受けているのは約2割の人々に過ぎない」と訴えてきましたが、この世論調査でも概ねそれに近い結果が出ています。

### 4. ベアの最高水準相次ぐ 景気は春以降本当に上向くのか

2015.03.27 日経BizCOLLEGE 小宮一慶

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20150326/440691/>

2015年春闘では、大手製造業が予想を上回るベースアップ（ベア）の回答が相次ぎました。トヨタ自動車は4000円、日産自動車は5000円、本田は3400円というように、特に自動車業界ではいずれも去年の水準を大きく超えています。自動車業界のみならず、電機業界、金融など一部の業種では高水準の回答となりました。こうした動きを見ると、注目されていた実質賃金が、春先以降に上昇してくる可能性が高いと考えられます。当然、これは日本経済にも好影響を与えますから、国内景気は春先以降、しばらく堅調に推移するのではないのでしょうか。

今回は、1 - 3月期以降の日本経済の動向について分析します。

### 5. 輸出増の景気押し上げ期待は過大

2015.3.20 日本総研 Research Eye

～再輸出、金など付加価値増に繋がらない輸出の増加～

No.2014-039

<http://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/research/pdf/8083.pdf>

昨年秋以降、わが国の実質輸出は増加基調に。アベノミクス始動後の円安が、ようやく輸出数量の押し上げに寄与し始めたとの見方も。

## 6. 「国内回帰」と報じられる動きをどうみるか

一部プラス効果も外需を軸とした「最適地生産」が企業の基本戦略

2015.3.19 日本総研 Research Focus No.2014-057

<http://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/researchfocus/pdf/8079.pdf>

昨年後半以降、製造業の「国内回帰」と報じられる事例が増加。こうした動きは生産拠点の海外シフトに歯止めをかけるとともに、わが国の貿易や景気、雇用など幅広くプラス効果をもたらすとの見方。そこで、「国内回帰」とみられる動きについて、その背景とわが国企業の海外展開における動向を分析したうえで、貿易・景気・雇用面への影響と国内回帰の今後をそれぞれ展望。

## 7. 輸出・経常収支の動向と日本経済の将来

経済産業研

2014年度 第3回一橋大学政策フォーラム

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/info.html>

祝迫 得夫（一橋大学経済研究所教授 / RIETI ファカルティフェロー）

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/iwaisako.pdf>

小峰 隆夫（法政大学大学院政策創造研究科教授）

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/komine.pdf>

佐藤 清隆（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/sato.pdf>

清水 順子（学習院大学経済学部教授）

[http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/shimizu\\_j.pdf](http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/shimizu_j.pdf)

清水 幹治（経済産業省通商政策局企画調査室長）

[http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/shimizu\\_m.pdf](http://www.rieti.go.jp/jp/events/15030501/pdf/shimizu_m.pdf)

## 8. 円安はこのまま安定均衡とはなりえない

2015.3.19 DIAMOND Online 野口悠紀雄

<http://diamond.jp/articles/-/68652>

2014年の秋以降、世界の金融・為替情勢が大きく変化した。アメリカが金融緩和を終了したのに対して、ユーロと日本が金融緩和を強化し、これによって、為替レートが大きく変化したからである。では、円安は、アメリカが金融緩和を終了した世界における新しい安定的均衡なのだろうか??以下では、円安が進行する条件にはかなりの無理が含まれており、そのため、円安は長期安定的な均衡とはなりえないことを指摘したい。

## 9. 賃上げはどこまで続くのか

2015.03.19 現代ビジネス 山崎 元

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42538>

参議院の予算審議で、実質賃金をどう考えるか論戦があった。民主党の小川敏夫氏が、物価上昇分を差し引いた実質賃金は19ヵ月連続で下がっていると指摘し

たのに対して、安倍晋三首相は、「消費税の3%の引き上げ分を除けば、総雇用者所得は昨年6月以降プラスだ」、さらに「今年の4月には消費税率引き上げ効果は剥落して（実質で）プラスになっていく可能性は十分ある」と答えた。

## 10. 株がどれだけ上がっても、「不動産は下がる」「国債は暴落する」

ついに来た!「株価2万円超えのこれから」 2015.03.18 現代ビジネス  
<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42496>

80年代のバブル経済では、株価とともに日本全国の不動産価格が、それぞれ原野でさえも上昇していった。しかし、21世紀のバブルは、不動産価格の上昇を伴わない。「'80年代はまだ人口が増えていたため、住宅需要が拡大するのが前提で、不動産が投機の対象になったのです。しかし、人口減少で需要が減ることが確実ななか、再び住宅価格がバブル化することなどありえません」(富士通総研上席主任研究員・米山秀隆氏)

## 11. 怖がっていても何も得られない 2015.03.18 現代ビジネス

確かに「官製相場」「実体なき株高」だが、それでも上がるものは上がる  
ついに来た!「株価2万円超えのこれから」  
<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42495>

そうは言っても日本銀行による異次元の金融緩和政策が始まって、もうすぐ2年。そろそろ限界を迎えるのではないか。アベノミクスは所詮「官製相場」にすぎない。GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が買い支えるのも限度があるのではないか。

## 12. 市場関係者が注目 気をつける! 2015.03.17 現代ビジネス

「2万800円」の壁を越えると、一気に上がるぞ  
ついに来た!「株価2万円超えのこれから」 第2部  
<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42494>

今年は戦後70年という節目の年だが、株式市場ではいま、それとは違うメモリアルイヤー(記念年)の到来に注目が集まっている。岡三証券日本株式戦略グループ長の石黒英之氏が言う。「日経平均株価が3万8957円の史上最高値を付けた'89年末当時の時価総額を更新する可能性が出てきました。当時の東証全体の時価総額は約611兆円でしたが、すでに2月末時点で約567兆円と近づいてきた。今後、日経平均が『2万800円』の水準まで上がって行けば、いよいよ611兆円を超えていく見込みです」

## 13. ついに来た!「株価2万円超えのこれから」 2015.03.17

ここの読みを間違えるとひどい目に遭う 現代ビジネス  
どこまで上がるか、いつ下がるか、それが問題だ

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42492>

熱狂する株式市場に死角はないか。いまどう動くのが正しいのか。国内外のブ  
ロに総力取材した日本株「全角度研究」。大変動時代をうまく走り抜けるための  
ヒントが見えてきた。

#### 14．好循環をつくれるか、デフレ克服こそが設備投資の起爆剤

2015.3.16 Nikkei BPnet 竹中平蔵

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20150313/439105/?ST=business&P=1>

今年に入ってから、株価が興味深い動きをしている。金融緩和による昨年来の  
株価上昇トレンドに加えて、市場にとって良い条件が出てきた証拠である。

#### 15．財政健全化を「三つの要素」で戦略に考える

2015.3.17

「瀬戸際経済を乗り切る日本経営論」

Nikkei BPnet 伊藤元重

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20150317/439464/?ST=business&P=1>

日本の財政は深刻な状況にある。すでに膨大な公的債務を抱えながら、足元で  
は巨額の赤字を垂れ流し続けている。今後は高齢化がさらに進み、社会保障費が  
膨れ上がっていくことが予想される。こうした財政状況に直面すれば、あらゆる  
手段を導入してでも財政健全化を実現すべきであるという議論になりがちだ。

#### 16．原油価格のさらなる下落が始まった

2015.03.17

「世界金融危機」発生までの悪夢のシナリオ

JBPress

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/43225>

先週の週間ベースでの原油価格の値下がり率は9.6%となり、2014年12月以来  
の大幅下落となった。

#### 17．15年ぶり高値の株価に漂う「バブルのにおい」

2015.3.3

2016年から高まる「崩壊」のリスク

日経ビジネスOnline 上野泰也

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/opinion/20150227/278048/?P=1>

「グローバルな金余り」を足場にした海外投資家などの買いと、公的年金・日  
銀が下値で買いに動く「官製相場」が組み合わさっている中で、日本の主要株価  
指数が堅調に推移している。日経平均株価の2月26日終値は1万8785.79円で、  
「IT（情報技術）バブル」が盛り上がっていた2000年4月20日以来の水準。  
TOPIXは1500を突破した。

#### 18．「2%インフレ目標未達」の批判は誤解での外れ

2015.3.19 DIAMOND Online 高橋洋一

<http://diamond.jp/articles/-/68651>

日銀は17日開いた金融政策決定会合で、現状の金融緩和の継続を決めた。原油安の影響で目先のインフレ率は上昇しにくく、0%程度になる可能性もあるが、物価の上昇基調は崩れていないとしている。

## 19．これからもドル高は進むか

2015.03.02 現代ビジネス 真壁 昭夫

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42313>

2月24日、25日の両日、FRBのイエレン議長は上院銀行委員会で証言を行った。市場は証言内容をハト派と受け取り、一時、ドル安が進んだ。その後、1月のコアCPIが市場予想を上回ったことを受け、金利引き上げ時期の可能性を読み込んで再度ドル買いが進んだ。この動きを見る限り、今後もドル高へ期待が根強い可能性を想起させる。FRBの想定や、一般的な認識以上に、一部の市場参加者のドル高期待は強いのかもしれない。今後の為替市場の動向を的確に予測するためには、FRBの金融政策に対するスタンスを冷静に分析し、市場参加者の動きを考える必要がある。

## 20．今の日本株は「バブルの再来」ではない

2015.03.02

安倍政権のブレない政策が株高を支える

東洋経済Online

<http://toyokeizai.net/articles/-/61991>

筆者は1月26日のコラム「日本株、外国人投資家懐疑の目が変わるとき」において、日本株は押し目買いのチャンスである可能性を指摘した。2014年末からの米国株下落をもたらした複数の不確実要因が市場心理を悪化させ、日本株もその影響で当時は日経平均株価が1万7000円台前半で推移していた。

## 21．アベノミクスで、失業率は低下していない

2015.03.02

日本経済の構造変化を無視する「リフレ派」

東洋経済Online 中原圭介

<http://toyokeizai.net/articles/-/61990>

前回のコラム「なぜ日本は『米国の失敗』をまねるのか」の続編として、今回は、リフレ政策を支持する人々が強弁する「アベノミクスによって失業率が低下した」という見解が、いかに間違った見解であるのかを説明したいと思います。

## 22．原油価格は今年後半上昇へ

2015.3.3

企業は“急変”リスクに備えよ

DIAMOND Online

<http://diamond.jp/articles/-/67740>

原油価格の先行きは、日本経済にとっても企業経営にとっても、極めて影響の大きい重要事である。このまま低価格が続くとの見方もあるが、年後半には、上昇に向かうことになりそうだ。ただし、上ブレ、下ブレをもたらすリスク要因が

多数あり、“決め打ち”は危険だ。上下双方向のリスクを想定し、備えておく必要がある。

### 23 . 株式市場は強気一辺倒だが、個人と外国人は官製相場に疑心暗鬼 株高は本当に続くのか？ 心配は安倍首相...

2015.03.03 現代ビジネス 町田 徹

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/42321>

“官制相場”の勢いが止まらない。日経平均株価は15年ぶりの高値に沸き、東京証券取引所の時価総額（市場第1部）も550兆円を突破してピークだったバブル期の9割の水準を回復した。

### 24 . 5つの波及経路で測る「原油安・円安」効果

2015.2.27 みずほ総研

<http://www.mizuho-ri.co.jp/publication/opinion/eyes/pdf/eyes150227.pdf>

### 25 . 本当のところ、どの程度危ないのか？

2015.03.02

日本の政府債務は太平洋戦争末期に匹敵  
再浮上する日本の財政健全化問題

JBPress

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/43021>

日本の財政問題をめぐる水面下の攻防が激しさを増している。政府は2015年2月12日、最新版の「中長期の経済財政に関する試算」を公表し、経済が順調に回復しても財政再建が難しい状況であることを示した。